

マグネロボ ガ*キーン

1976年

『マグネロボ ガ・キーン』は、1976年（昭和51年）9月5日から1977年（昭和52年）6月26日までNET→テレビ朝日系で毎週日曜日18時00分から18時25分に全39話が放送された、東映動画製作のロボットアニメ。

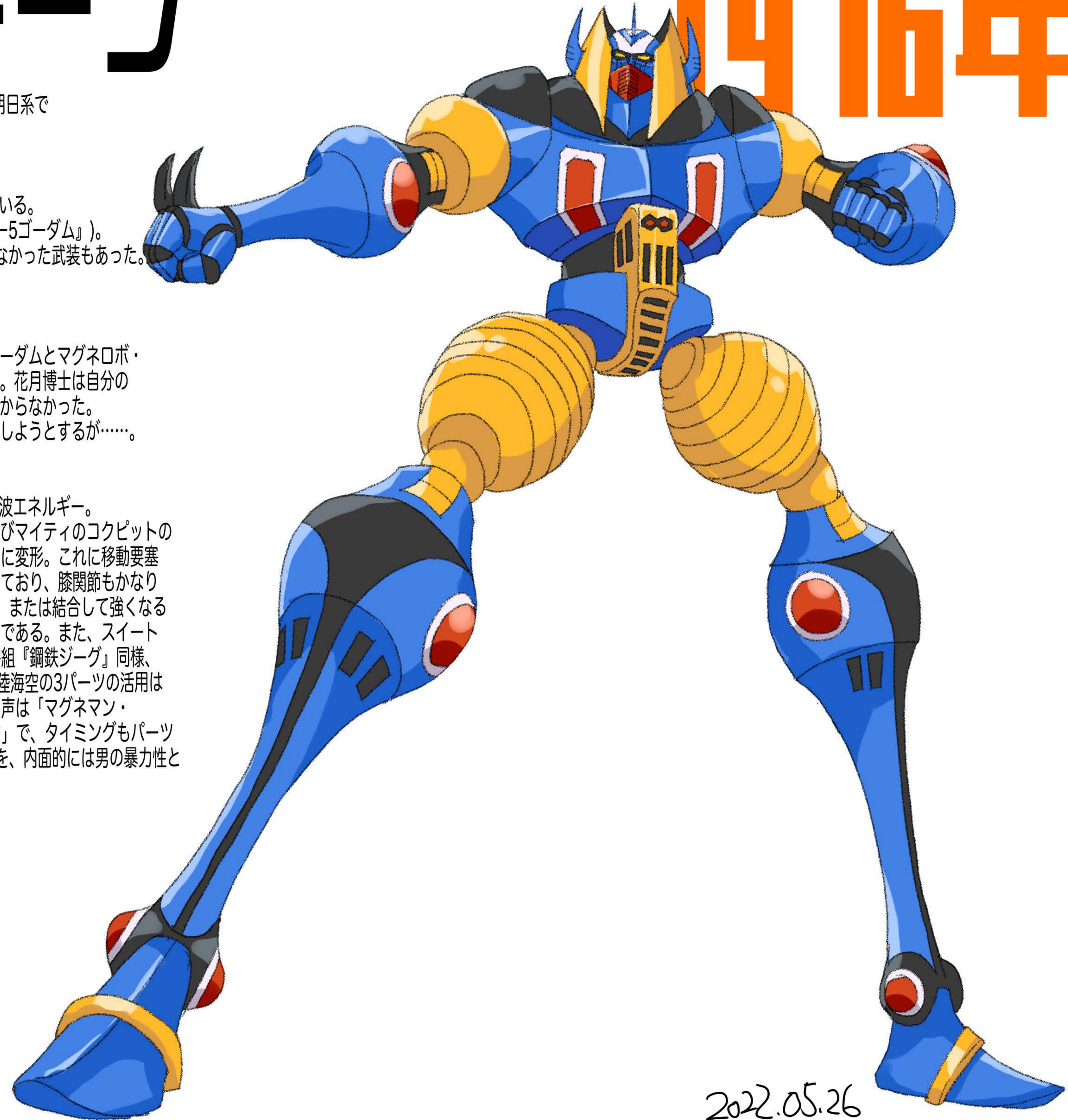
【概要】
『鋼鉄ジーグ』に続く『マグネロボシリーズ』の第二弾。マグネロボシリーズというのは本作のタイトルから取っている。また、スポンサーのタカラ（現・タカラトミー）のマグネモシリーズ第3弾である(同シリーズの第2弾は『ゴワッパー5ゴードム』)。視聴率は前作より苦戦し、後半の数々のパワーアップ劇をもってしても上げることができなかった。1話しか登場しなかった武装もあった。放送時間については、30分バージョンと26分バージョンの両方が作られた。

【あらすじ】
イザール星人の地球侵略が開始された。花月博士率いる地球システム研究所は、秘密裏に移動要塞研究所ゴッドフリーダムとマグネロボ・ガ・キーンを開発、イザールの侵略に備える。しかしガ・キーンを起動させるためにはマグネマンが二人必要だった。花月博士は自分の娘である舞をマグネマン・マイナスに選んだが、もう一人のマグネマンであるプラスの資格を持つ人物は未だに見つからなかった。花月は友人である北条徹の息子であり、人並み外れた耐電能力を持つ猛に目をつけ、彼をマグネマンとしてスカウトしようとするが……。

【ガ・キーン】
花月博士がイザール星人の侵略に対抗するため開発した巨大ロボット。全長50m、重量70t。動力源は原子力と磁流波エネルギー。北条猛が変身したマグネマン・プラス、花月舞が変身したマグネマン・マイナスの二人が男女ロボのプライザーおよびマイティのコクピットのキャノピー部分より飛び出し（デルドアウト）、スイートクロスして六角形を二つ並べたような形状のコア・パーツに変形。これに移動要塞研究所ゴッドフリーダムから発射されるパーツが合体して完成する。手足が長く胸が短い独特のプロポーションをしており、膝関節もかなり上部に存在している。機体色は青と黄で塗り分けされている。名前の由来は「Gathering Keen」で、鋭く集合する、または結合して強くなるという意味である。その名の通り、シャープな戦闘スタイルを基本とし、カッターなどの武装を多用するファイターである。また、スイートクロスは、演出を担当した勝間田具治に抛れば、旅先で妻と就寝しようとして思いついた名称とのこと。当初は前番組『鋼鉄ジーグ』同様、陸海空の3パーツの活用はガ・キーンでも採用される予定だったが、実際的には採用されなかった。なお没になった陸海空の3パーツの活用は後番組『超人戦隊バラタック』で生かされた。マグネマンがコアパーツとなりガ・キーンパーツと合体する時のかけ声は「マグネマン・イントゥーワン」で、猛と舞のユニゾン発声である。パイロット版では猛の声のみで「コンバイン・イントゥーワン」で、タイミングもパーツ同志の合体時となっている。雑誌『宇宙船』Vol.2における特集記事では「表面的には男性の逞しさと女性の優しさを、内面的には男の暴力性と女の残酷さを併せ持ったロボット」と評されている。
出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

スタッフ (本編)
原作 - 東映動画プロジェクトチーム
原案構成 - 浦川しのぶ
企画 - 横山賢二 (東映動画)
キャラクターデザイン - 小松原一男
プロデューサー - 後藤武彦 (NET→テレビ朝日)、塩沢弘文 (ジャパド)
製作担当 - 佐伯雅久
制作 - 東映動画、NET→テレビ朝日、ジャパド

スタッフ (パイロット版)
絵コンテ・演出 - 勝間田具治
キャラクターデザイン・作画監督 - 小松原一男
音楽 - 菊池俊輔、渡辺宙明
ナレーター - 野田圭一



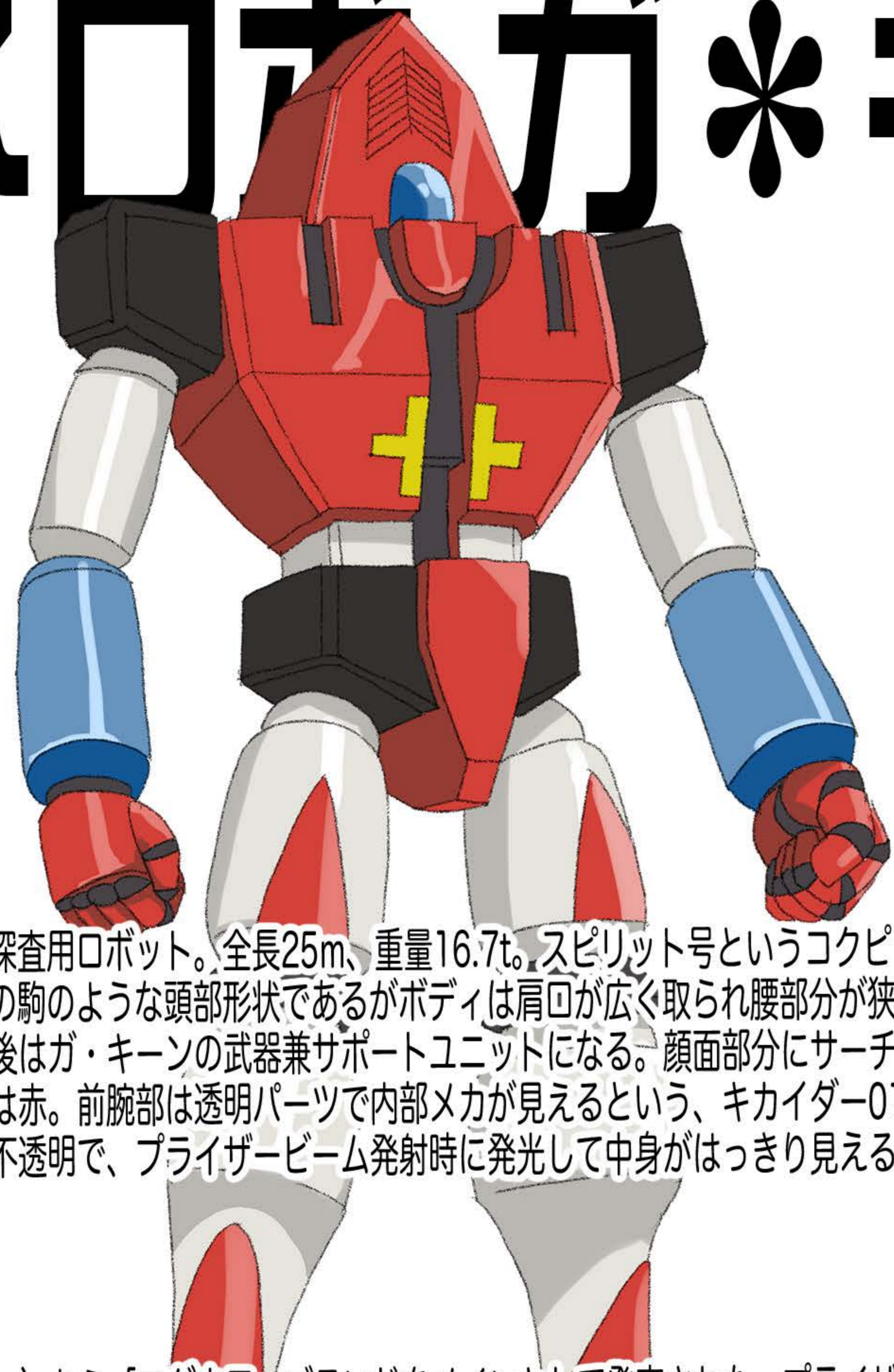
2022.05.26

<https://majingai.x.fc2.com>

マグネロボガ*キーン

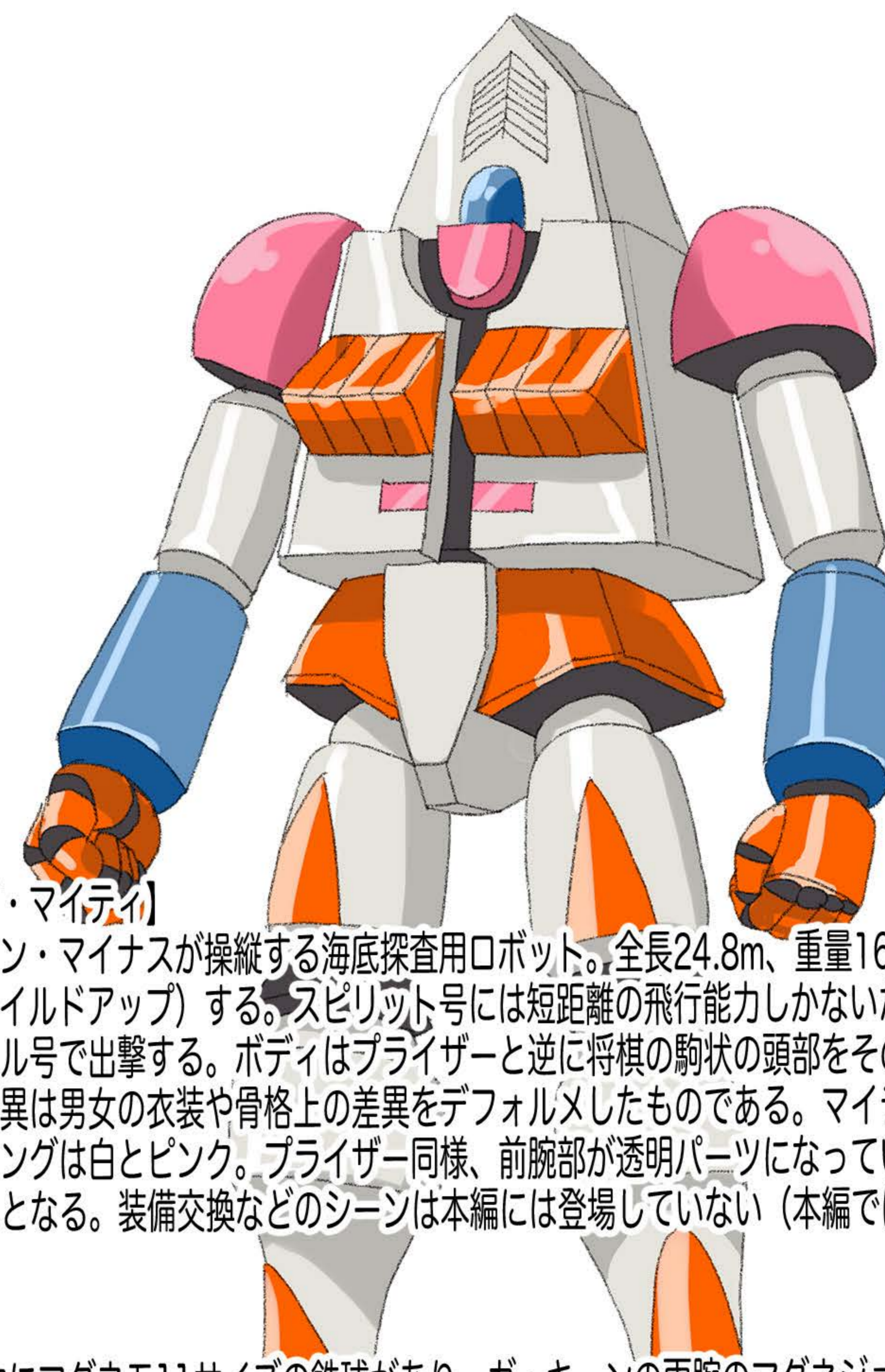
1976年

<https://majingai.x.fc2.com>



【男ロボ・プライザー】

マグネマン・プラスが操縦する宇宙探査用ロボット。全長25m、重量16.7t。スピリット号というコクピットを兼ねるバイクと合体（ハイルドアップ）する。将棋の駒のような頭部形状であるがボディは肩口が広く取られ腰部分が狭い逆三角形のシルエットであり、ガ・キーン合体後はガ・キーンの武器兼サポートユニットになる。顔面部分にサーチライトを内蔵している（マイティも同様）。カラーリングは赤。前腕部は透明パーツで内部メカが見えるという、キカイダー01に酷似した構造になっている（アニメ演出上、普段は不透明で、プライザービーム発射時に発光して中身がはっきり見えるようになる）。



【女ロボ・マイティ】

マグネマン・マイナスが操縦する海底探査用ロボット。全長24.8m、重量16.5t。エンジェル号というコクピットを兼ねる飛行メカと合体（ハイルドアップ）する。スピリット号には短距離の飛行能力しかないので、長距離航行などは2機の合体形態であるスピリットエンジェル号で出撃する。ボディはプライザーと逆に将棋の駒状の頭部をそのまま下に延長したような三角形のシルエットだが（この形状の差異は男女の衣装や骨格上の差異をデフォルメしたものである。マイティの方がやや低身長なのも同じ理由）役割はほぼ同じ。カラーリングは白とピンク。プライザー同様、前腕部が透明パーツになっている。また「-」シンボル部分が左右に展開しツールボックスとなる。装備交換などのシーンは本編には登場していない（本編ではドリルが装備済みである）。

【玩具などのアイテム】

放送当時はタカラ（現・タカラトミー）から「マグネモ」ブランドをメインとして発売された。プライザーとマイティはマグネモ8規格だが、背中にマグネモ11サイズの鉄球があり、ガ・キーンの前腕のマグネジョイントに装着する事ができた。バリエーションも発売されたが、マグネジョイントは2箇所のみで、ガ・キーンとの合体には5ミリ径ジョイントを使用する。マグネモシリーズは他に、いずれもマグネモ8規格のスピリット・エンジェル号とミニサイズのガ・キーンが発売された。マグネモ以外の玩具ではマイクロマウントタイプやロボットマウントタイプ、ソフトビニールのフィギュア、サンゼンからフリクションタイプ合金、オンドから光る電光ガ・キーンなどが発売されており、玩具関連以外にも文具関連や菓子類など、数多くの商品展開を行っている。放送から32年近く経った2008年9月、シーエムズコーポレーションからBREVE合金ガ・キーンが発売された。腕や脚はマグネモ版と同様に磁石で接続されており、パーツ換装も容易に行うことが可能である。プライザー・マイティや劇中に登場した武装・オプションパーツが同梱されており、1セットだけで劇中に登場したほぼすべてのバリエーションが再現できるうえに、ブレン総司令官の剣も付属する。ただし肘に装着するドリルが付属しないため、ガ・キーン・シャベルパワーは再現できない。また、プライザー・マイティの武装も再現されていないもの（ニューミサイルなど）が存在する。マグネジョイントはガ・キーン本体がマグネモ11、プライザー・マイティおよび一部オプションがマグネモ8に準じており、過去に発売されたマグネモとの互換性がある。また、超合金魂鋼鉄神ジグやエヴォリューショントイから発売している「ダイナマイトアクション！」のパーツも装着可能で、それぞれの手足を交換することもできる。アニメのカラーリングを再現した限定版も10月に発売している。このほかにも、海外限定版として、マグネモのカラーリングを意識したバージョンも発売された。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

【マグネロボシリーズ】

マグネロボシリーズは、1970年代にタカラ（現タカラトミー）がスポンサーとなって放送したマグネモ規格のロボットアニメシリーズ、およびその続編。

【概要】

マグネモとは、タカラから発売されたロボット玩具。金属（鉄系合金）製の球体関節と、それを支える、鉄板に挟まれた永久磁石によってパーツの脱着・交換ができ、なおかつ関節が可動するのが特徴である。この構造は、単体の永久磁石よりも磁力線密度を上げ、吸着力を向上させる事が出来る。この原理を応用して、初期に用いられたフェライト磁石単体の吸着力よりも安定した、強い吸引力を発現する事で商品化に成功した。パーツの交換は、球体関節の直径が合えば、他の製品（例、鋼鉄ジグとバラタック）の同じ部位（腕と腕、足と足）のほか、腕と足の交換なども可能。マグネモには、主要金属球ジョイントのミリメートル単位の直径を表す数字が付く（マグネモ11、マグネモ8[1]）。幾つかの製品には、製品に表示されている以外の直径の金属球ジョイントが用いられている部位があることがある。「マグネロボ」の呼称は、第2作『マグネロボガ・キーン』（1976年 - 1977年）から名付けられた名称で、1作目の『鋼鉄ジグ』（1975年 - 1976年）にはなかった。しかし最終的には東映動画で3作目まで製作され、さらに並行してタツノプロで『ゴワッパー5 ゴードム』（1976年）も製作されたため、後に『マグネロボシリーズ』という名称が付けられた。『超人戦隊バラタック』（1977年 - 1978年）を以てシリーズは終了した。なお、2007年に製作された『鋼鉄神ジグ』のスポンサーはバンダイで、商品はマグネロボシリーズではなく超合金魂であった。いずれの商品も磁石を用いている点から、後年の同範疇商品の注意書きには以下の注意点が明記されている。砂鉄等の鉄片・金属片の吸着に気を付ける事。対象年齢下限（5歳）程度の子供の、玩具の取扱いはあまり丁寧ではなく、砂場等に埋めたり、ゼムクリップ等、他の鉄製品を、磁力関節部に着けたりして、色々な問題を引き起こしている。磁力線が磁気記録装置や電子機器に影響を及ぼす為、磁石のある本体部（特に磁力関節部）や後年作商品の剥き出しの磁石そのものをこれらに近付けてはいけない。とりわけ磁気記録装置媒体（磁気テープや磁気ディスク等）や、USBメモリ等との、磁石本体や磁力関節部の直接接触は、記録データの破壊や消失等を引き起こす危険性が高い。後年の同範疇商品の場合は、部位によっては、より小型で磁力も強いネオジム磁石が用いられている為、更にその危険性が高くなっている。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

2022.05.27

マグネロボ ガ*キーン

本作は約5分ほどのパイロット版が製作されている。登場する人物で声を当てているのは猛と舞の2人だけで、本編とは異なりそれぞれ野田圭一と吉田理保子が演じている。また一部の用語が本編と異なるものとなっている。

【北条 猛 (ほうじょう たける)】声 - 古川登志夫 (次回予告ナレーションも兼任)
北条流武道という武道家の家に生まれ父も武道家。17歳。その身体能力は高く、自らも武道家になるべく武者修行をしていた。幼少時に落雷事故に遭いその時に母親を失っている。その時発覚した電気に強い体質とその格闘能力を見込まれマグネマン・プラスとなる。マグネマン・プラスに変身すると変身前よりも凛々しくなるが、舞ほどの表情の劇的な変化はない。当初は協調性に欠け、孤高な雰囲気を持つ独りよがりな部分も目立ったが戦いを通じて成長してゆく。

【花月 舞 (かづき まい)】声 - 杉山佳寿子
ガ・キーン開発者、花月 守の娘。16歳。イザール星人の侵略を警告する父のためにマグネマン・マイナスとなる。特に体質的に有利というわけではなくマグネマンになるための電撃特訓など血のにじむような努力の成果として変身可能となる。人当たりもよく暴走しがちな猛を支えた。マグネマン・マイナスになると眉毛は釣り上がり狐のようにやや細めの目つきになり表情も変わり、化粧をした感じの大人の顔になり凛々しくなる。身体能力と柔軟性が高いため、水泳と新体操が得意。

【花月 守 (かづき まもる)】声 - 内海賢二
地球システム研究所の所長にしてガ・キーン開発者。イザール星人の侵略を早くに察知するも誰にも取り合ってもらえず、私財を投じてガ・キーンとゴッドフリーダムを建造する。パイロットとして必要なマグネマンの一人に自分の娘を選んだ。

【北条 徹 (ほうじょう とおる)】声 - 柴田秀勝
猛の父。花月博士とは友人同士。北条流武術師範。猛を幼少時より過剰に厳しく鍛え上げ、物語開始時には、猛とは事実上の絶縁状態となっている。

【北条 琴江 (ほうじょう ことえ)】声 - 北浜晴子 / 吉田理保子 (幼少時)
猛の姉。母が夭折した北条家の母親代わり。

【小松 独 (こまつ ひとり)】声 - 野田圭一 (ナレーションも兼任)
ゴッドフリーダム所属。戦闘要員。デリバリー号のメインパイロット。孤児ということもあって、仲間意識を大切にしており、物語当初、協調性がない猛とは衝突が絶えなかった。

【肥前 太 (びぜん ふとし)】声 - 増岡弘
ゴッドフリーダム所属。戦闘要員。デリバリー号のガンナーおよびサブパイロット。

【辻 天才 (つじてんさい)】声 - はせさん治
ゴッドフリーダム所属。分析・整備要員。デリバリー号のレーダー、データ解析担当。チックタッカーを開発するなどメカにも強い。

【肥前 カオル (びぜん カオル)】声 - つかせりこ
太の妹。兄を頼ってゴッドフリーダムにやってきた活発 (というよりおてんば) な少女。天才とともにチックタッカーを開発し戦闘に加わろうとした。
出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



1976年

マグネロボ ガ*キーン

イザール星人
【地底将軍コックロー】 声 - 増岡弘
 地底での作戦を指揮する三将軍の一人。功名心にあふれた利己的な性格。専用のコックローカーで前線に出て、そこから合成獣に命令を下す。最終話で合成獣を指揮して市街地を攻撃するが、ガ・キーン重戦車の後輪を受けてコックローカーごと押し潰される。

【海底将軍スタッフィー】 声 - 北浜晴子
 海での作戦を指揮する三将軍の紅一点。海洋生物をモチーフとした姿をしている。最終話でコックローが市街地にガ・キーンを誘き出したその際にスタッフィーカーでゴッドフリーダムを攻撃する二面作戦に出るが、独りに迎撃されて戦死した。

【情報長官デバイス】 声 - はせさん治
 三将軍の一人で地上での作戦を指揮し、情報収集と諜報活動を行なう。頭部が透明なドームで、耳がレーダーという機械生命体。最終話で要塞内に突撃してきたガ・キーンのエレザーを受けて即死。

【シャドー隊長】 声 - 野田圭一
 デバイスの部下。変装の名人。義手である右手に銃を内蔵している。

【ギャザーン】 声 - 田中崇
 イザール皇帝直属の特別攻撃隊長。カオルたち子どもを利用してガ・キーンとゴッドフリーダムを窮地に陥れたが、失敗した挙句、巨大化してガ・キーンと戦い果てる。

【イザール帝王】 声 - 内海賢二
 イザール星の支配者。イザール星は星としての寿命がつきかけており、移住先として地球を侵略しようとした。ブレン亡き後、自ら指揮を執るために地球に降り立つ。最後は巨大化しガ・キーンとの戦いを繰り広げた。
 出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

【ブレン総司令官】 声 - 柴田秀勝
 イザール帝王腹心の部下。イザールの地球侵略軍総司令官。部下よりもふた周りほど体が大きく、肥大化した脳のような頭部を持つ。帝王直属のギャザーンを見殺しにした責任を問われ、第35話で自ら出撃し、巨大化してガ・キーンと直接戦った

話数	サブタイトル	脚本	演出(絵コンテ)	作画監督
1	無敵の王者 ガ・キーン!	山浦弘靖	勝間田具治	小松原一男
2	燃える猛!! 合成獣を打ち砕け!!	安藤豊弘	明比正行	中村一夫
3	心にきざめ!! プラス・マイナス・ゼロ	藤川桂介	新田義方	兼森義則
4	見たか!! 大車輪アタック!!	山浦弘靖	山口秀憲	新田敏夫
5	勝利のきめては団結くずしだ!!	藤川桂介	明比正行	小松原一男
6	舞が叫んだ 闘志のスイート・クロス	安藤豊弘	勝間田具治	小泉謙三
7	移動要塞 (ゴッド・フリーダム) 宇宙の果てに 大爆発!!	大爆発!!	藤川桂介	新田義方 兼森義則
8	父が教えた心と技	山浦弘靖	明比正行	中村一夫
9	真赤に燃える兄妹愛	星山博之	勝間田具治	須田正己
10	南極の死闘デリバリ一号	安藤豊弘	松浦錠平	小松原一男
11	ガ・キーンはじめての敗北?!	山浦弘靖	福島和美	小泉謙三
12	顔のない好敵手!!	藤川桂介	新田義方	兼森義則
13	狙われた感謝デー	藤川桂介	森下孝三	谷沢豊
14	猛! 試練を乗り越えろ!!	星山博之	明比正行	中村一夫
15	恐怖の連続タンカー襲撃!!	藤川桂介	松浦錠平	小松原一男
16	ピンチを救った 意外な仲間	星山博之	福島和美	小泉謙三
17	怒りの大回転アタック	安藤豊弘	勝間田具治	須田正己
18	くたばれ タイフーン・ギャング!!	藤川桂介	新田義方	小松原一男
19	嵐の中のリターン・マッチ!!	山浦弘靖	明比正行	中村一夫
20	9.5秒にかけた攻防!!	藤川桂介	新田義方	鈴木孝夫
21	東京大洪水作戦	安藤豊弘	森下孝三	新田敏夫
22	実戦!! 逃げ出した優等生	星山博之	松浦錠平	小松原一男
23	友よ今こそ手を結べ!!	藤川桂介	福島和美	小泉謙三
24	深海地獄 一万メートル!!	安藤豊弘	新田義方	鈴木孝夫
25	愛と涙の弾丸	山浦弘靖	勝間田具治	須田正己
26	新兵器 カッター・フラッグ登場!!	山浦弘靖	明比正行	中村一夫
27	新兵器を助けた珍兵器!!	藤川桂介	新田義方	兼森義則
28	大逆転!! 必殺ヌンチャク	安藤豊弘	松浦錠平	小松原一男
29	始動開始!! シャベル・パワー!!	星山博之	森下孝三	湖川滋
30	ガ・キーン対ガ・キーンの決闘	山浦弘靖	福島和美	小泉謙三
31	驚異のマグネマツ・ダミー!!	藤川桂介	勝間田具治	須田正己
32	無敵!! ガ・キーン重戦車!!	安藤豊弘	明比正行	中村一夫
33	飛べ!! マッハ・ウイング!!	星山博之	森下孝三	鈴木孝夫
34	特別攻撃隊長ギャザーン	藤川桂介	松浦錠平	小松原一男
35	重戦車大改造計画!!	藤川桂介	福島和美	小泉謙三
36	大空にけるバリエーションアンカー号	安藤豊弘	森下孝三	須田正己
37	恐怖の病原菌作戦!!	星山博之	新田義方	湖川滋
38	三人の心が一つに燃えた	山浦弘靖	福島和美	小山昭夫
39	ガ・キーン最後の出撃!!	藤川桂介	松浦錠平	小松原一男

<https://majingai.x.fc2.com>

197
2022.05.29